

耐屈曲性試験/耐折性試験

フレキシブルプリント配線板向け試験

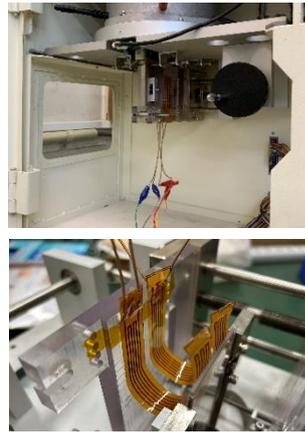
フレキシブルプリント配線板及びその基材は用途により、特有の耐柔軟性が求められています。耐柔軟性を評価する信頼性試験として、**耐屈曲性試験**と**耐折性試験**があります。JIS C5016 “フレキシブルプリント配線板試験方法”には**耐屈曲性試験**と**耐折性試験**、JIS C6471 “フレキシブルプリント配線板用銅張積層板試験方法”には**耐折性試験**が規定されています。ケミトックスでは、規格に対応した装置を保有していますので、規格に沿った評価はもちろんのこと、フィルム製品の耐久性評価にもご活用いただけます。サンプル受領後すぐの対応が可能ですので、弊社の試験サービスをぜひご利用ください。

◆耐屈曲性試験 米国A2LAIによるISO/IEC17025認定取得

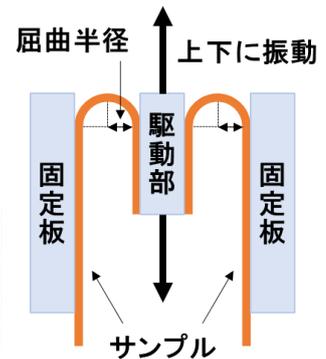
サンプルの屈曲耐性を評価する試験です。固定したサンプルを駆動部の板を上下に振動させることにより屈曲させます。既定の屈曲回数、またはサンプルが破断するまで試験を行います。サンプルの導通抵抗変化率を経時測定することが可能です。常温常湿以外での試験も対応可能です。

装置仕様

- ストローク長: 5~30 mm
- 屈曲半径 : 1.0~2.5 mm(範囲外も要相談)
- 屈曲速度 : 100~3,000 回/分



試験装置



JIS 準拠試験イメージ

◆耐折性試験 米国A2LAIによるISO/IEC17025認定取得

サンプルの折れ曲がり耐性を評価する試験です。MIT 試験とも呼ばれています。サンプルに荷重をかけながら治具を回転させることにより折り曲げます。既定の折り曲げ回数、またはサンプルが破断するまで試験を行います。

装置仕様

- 屈曲半径: 0.2、0.3、0.38、0.8、2.0 mm
- 引張荷重: 300~1,000 g
- 回転速度: 12、50、100、175 回/分



試験装置



JIS 準拠試験イメージ

お問い合わせ先